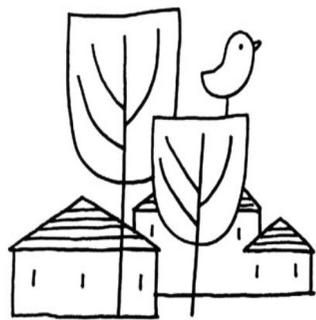


切実な地域の課題が噴出



11月8日から、日田市議会主催の議会報告・意見交換会が市内20の公民館で開催されています。会場によっては、議会に市に対する厳しい意見や質問、要望が出されるなど、地域の課題に対する住民のまちづくりの思いが強くなる意見交換会となっています。

対策を取組むことを言っていたので期待しているが、議員もすっかりやっってもらいたい「市役所1階の階段を撤去した方がいいと思うがどう考えているか」「天ヶ瀬の復興計画は問題が多い」「台小学校跡地が避難所となっているが雨漏りをする。傘をさして避難せよ」というのか。水道も出ない」など改善要望も出されました。

三花会場では、「住民は日常的に山田原養豚場からの臭気で悩まされている。市は抜本対策を取るべきだ。議員はどう考えているか」「山田町の新清掃センター建設も後から知った。前に説明はなかった。環境汚染が心配」「三花地区を多く

議会報告・意見交換会始まる



13日、三花公民館で挨拶する大谷市議

11月8日から22日まで、市内20地区の公民館を借りて、市議会主催の議会報告・意見交換会を開催しています。「コロナ感染症の拡大にともない中止していましたが、議員が4つのグループに分かれて、再開することになりました。議会の3つの各委員会から4つの事業を説明し、意見交換をしています。

天ヶ瀬では周辺部の衰退、人口減少で地域の維持、祭りなどの継続が困難になっている実状が述べられ「新市長が周辺部

大分空港を戦闘機が初訓練



13日、離着陸訓練に抗議する人たち（大分空港横）

「戦争準備の訓練やめろ」と軍事利用に抗議

航空自衛隊は13日、民間空港の大分空港を使ったF2戦闘機4機の離着陸訓練を強行しました。10日から全国各地で始まった陸海空自衛隊の統合実動訓練の一環です。空港横の高台では、県平和委員会、新日本婦人の会や地元住民ら20人が横断幕やプラカードを掲げ、「民間空港の軍事利用は許さない」「戦争準備の訓練は中止を」と抗議の声をあげました。

大分空港での自衛隊機訓練は初めて。午後1時過ぎ、爆音をとどろかせ着陸する戦闘機を目にした甲斐かおるさんは「私たちの暮らしの中に戦争が踏み込んできた。こんな光景、本当は見たくないし、子どもたちへの影響が心配だ」と迫る軍靴の音に危機感をあらわにしました。

